

# 自力分解仕様 ミニクローラクレーン



**2.9t**  
**6段**

自力分解専用治具付きで、  
分解・組み立てに他の揚重機は不要!

**好評**  
**レンタル中**

ブームやアウトリガなど主要パーツが取り外せるので、ヘリコプターや索道による運搬が可能です。

- 最大クレーン容量 2.93t×2.5m
- 最大地上揚程 14.9m
- 最大作業半径×クレーン容量 14.45m×0.13t



ブーム、テレスリンダ [5段ブーム：580kg / 6段ブーム：620kg]	
フック [30kg]	
アウトリガ、(縦)シリンダ、(横)シリンダ [175kg (×4本=700kg)]	
フレーム、コラム、デリックシリンダ [1100kg]	
台車、ゴムクローラ [1410kg]	

## 分解の流れ



油圧配管の接合は分解時も  
便利なワンタッチカブラ式。

## 充実の安全装備

### 転倒防止装置

安定度が低下してアウトリガが浮き上がる前に、クレーンの作動(ブーム伸長・伏せ、フック巻上げ、旋回)を停止して、転倒を未然に防止します。



### 過負荷警報装置

ブーム長さ・角度・吊り荷重などから、クレーン本体に掛かる負荷をトータルに計測。定格荷重に近づくと警報を発生し、注意を促し、オーバーロードを防ぎます。

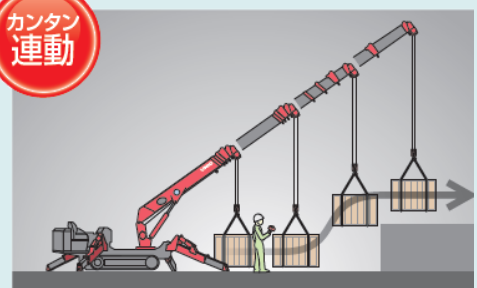


## 連動ラジコン



吊り荷の動きや現場の状況に合わせて連動操作とクリック操作で思いのままのフックコントロールがおこなえます。設置物などの障害物越え作業もなめらかにおこなえるほか、アウトリガ設置・エンジンのON/OFFもラジコンで可能です。クレーン作業の効率化・省力化を実現します。

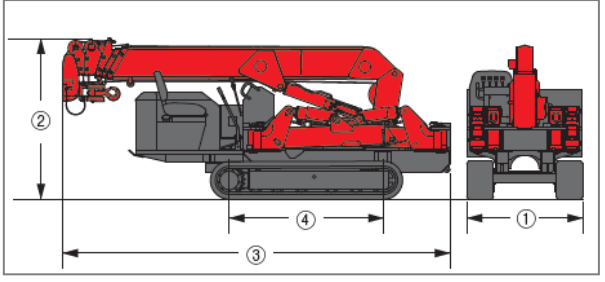
カンタン  
連動



### 仕様

商品コード	151361	
メーカー	古河ユニック(UNIC)	
型式	UR-W376C2RS-A	
ブーム段数	6段	
駆動方式	ディーゼルエンジン仕様	
最大クレーン容量 ※	2.93t × 2.5m	
最大地上揚程 (m)	14.9	
最大地下揚程 (m)	18.7	
最大作業半径 (m)	14.45	
フック巻上速度(m/min)	17	
ブーム伸長速度[ブーム長さ](m/s)	10.98[3.63~14.61]/23.0	
ブーム上げ速度(° /s)	0~80/10.0	
旋回範囲/速度(° /rpm)	360(連続)/2.5	
油圧ポンプ定格圧力 (MPa[kgf/cm <sup>2</sup> ])	クレーン	20.6[210]
	走行	22.6[230]
走行装置	走行速度(前進・後進共)(km/h)	0~3.0
	クローラ設置長 (mm)	1,750
	クローラ接地圧 (kPa[kgf/cm <sup>2</sup> ])	36.0[0.37]
	登坂能力(アプローチ角度)(°)	23
駆動装置	エンジン	定格出力 (kw/rpm) 15.17/2,500
	燃料タンク (L)	40
低騒音指定状況	超低	
排ガス指定状況	3次	

※アウトリガ最大張出し時



寸法・質量

全幅 ①	1,300
全高 ②	1,800
全長 ③	4,340
軸距 ④	1,750
運転整備重量 (kg)	約3,860

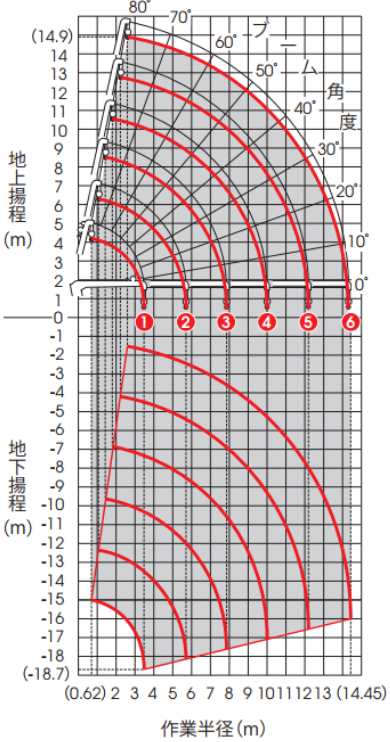
### 定格総荷重表

使用ブーム	作業半径(m)																			
	2.5	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	14.45			
①+②	2.93	—	2.38	1.98	1.70	1.48	1.33	1.10 (5.69m)												
①+②+③		2.27	2.12	1.68	1.43	1.25	1.10	0.98	0.87	0.72	0.62 (7.88m)									
①+②+③+④					1.07	0.96	0.87	—	0.76	0.65	0.55	0.50	0.41 (10.07m)							
①+②+③+④+⑤						0.78	0.65	—	0.51	0.42	0.37	0.33	0.30	0.27	0.26 (12.26m)					
①+②+③+④+⑤+⑥							0.33 (4.9m)	—	0.30	0.28	0.25	0.23	0.21	0.19	0.17	0.16	0.14	0.13		

※フック重量30kg、アウトリガ最大張出し時

- ・本表はクレーンを水平設置した時のクレーンの強度および安定度に基づいた性能で、負荷時のブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
- ・アウトリガ最大張出しとは、インナーボックスを最大に伸長させ、アウトリガアームのロックピンを最大張出し位置に挿し、旋回ロックピンを標準張出し位置に挿した状態です。それ以外の状態では最大張出し以外の性能で作業してください。
- ・アウトリガの内、どれか1本でも最大張出しではない場合は、最大張出し以外の性能で作業してください。
- ・アウトリガの設置を誤ると転倒の恐れがあります。アウトリガは水平堅土上に最大張出しで設置してください。その際には各ロックピンが確実に入っていることを確認してください。

### 作業範囲図



※本図は無負荷時の状態で、ブームのたわみは含まれていません。

### アウトリガ張出寸法

